



学校だより

# うたじま



令和7年度 10月号  
大阪市立歌島小学校

歌島小



## 学びに向かう姿勢について③

運動会がせまっています。暑い日が続きますが、小学校の体育館ではどの学年も団体演技の練習に余念がありません。こどもたちは四肢を上下、左右、回転、非対称に、軽快に動かします。手本となる教員の動きを見るだけで曲のリズムに合わせ、複雑な動作をやってのけます。体育館で演技を身につけたら、次は隊形移動を加えて、運動場でダイナミックに動くようになります。実は、小学生たちが短期間でやり遂げるこの動作は、最先端のAIやロボット工学の力でも困難なこととされています。

### ○ 団体演技によって何を身につけるのか

まだまだ熱中症を予防する対策が必要な暑さです。練習中は必ず水分補給タイムを設けています。この時間がいい区切りにもなっているようです。後半も頑張ろう!という気概が回復しています。

さて、誰もが運動会で団体による表現運動をした経験はあると思います。日本の学校教育に欠かさない体育行事の風景です。教育現場では「団体演技」という名称を使っていますが、この団体演技で何を身につけることができるかを考えてみました。大きく分けると、A、身体を使った表現力を高めること。B、人と人が調和的な関係をつくること。の2点かと思います。

私たちは、視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚などの感覚器官を通して情報をキャッチし、脳の回路を通じてイメージをつくり、身体を使って表現します。これらには、多くの学びが隠されています。指導する教員の工夫からこどもの学びを追ってみます。

まず、団体演技で使用する曲を聴かせ、その曲調からイメージをもたせます。こどもは曲の流れやテンポを感覚でつかみ、体が自然にテンポに合わせて動き出すような感覚になります。どんな演技になるのか期待を膨らませながら演技に使用するアイテムづくりをする場合もあります。こどものイメージはさらに広がります。曲の節目と演技の区切りを合わせながら、教員は節目ごとに演技の見本を示します。「とん、とん、ぱっ!」「ぐるーん、ぴたっ!」など、絶妙なオノマトペを駆使して動作とテンポを合わせる工夫も随所にみられます。こどもはそれをよく見て、よく聞いて覚え、動作と曲をつなぎ合わせて演技を完成させます。

さて、これだけでは団体演技は完成しません。人と人が調和的に機能しないと、ひとつの演技として完成しないからです。指導する教員の工夫からこどもの学びを追ってみます。こどもたちは、全体練習の前にグループ分けされ、隊列などで役割を与えられます。アイテムの色でグループをわけたりします。団体演技では、全員が全く同じ動きをしても躍動感や見せ場になるアクセントが生まれません。グループごとに決められたタイミングで動き出す。グループ別に動作を反転させる。などの役割を与えられることによりこどもたちは、周囲との調整力（呼吸を合わせる力）を身につけます。自分のグループの動きを覚える。他のグループの動きにつられてしまわないようよく注意する。他のグループの動きより自分のグループの動きの方がよりダイナミックになるよう躍動感をみせる。このような、身体の動きだけではなく心の働きが引き出されることで相乗効果が生まれ、団体演技がまとまっていきます。演技の完成度があがってきたことを意識したこどもたちは、最終段階として、観戦者（家族や関係者）の胸に響く演技をイメージするようになります。

上記のこどもの学びについては、ごく一部の視点かと思います。また、年齢によって違いもあります。藍染とおなじように、6年間の繰り返しによりこどもの学びに広がりや深みがでてくるようになります。

## こどもの体の変化 発育状態や健康状態の調査から

大阪市では、幼児・児童・生徒を対象に毎年「学校保健統計調査」を実施しています。令和6年度に実施した調査の結果をまとめたものが9月に公表されましたので紹介します。なお、肥満傾向の集計方法の変更および調査対象を全児童・生徒に拡大した平成26年度から10年間の変化を調査結果のまとめとしています。

### ○ 主な疾病・有所見率の推移

小学校	平成26年度	令和6年度	平成26年度と 令和6年度の差
肥満傾向	0.03	0.71	0.68
せき柱測わん	7.14	9.07	1.93
歯（処置完了・未処置歯のある者）	52.29	35.38	▲16.91
ぜん息	0.62	0.33	▲0.02

※ ▲（減少）

上の表からわかるように、「肥満傾向」と「せき柱側わん」が増加しています。ここでは小学生だけを引用していますが、調査結果ではすべての校種で増加がみられます。肥満傾向の者とは、「実測体重(kg)－身長別標準体重(kg)÷身長別標準体重(kg)×100%の計算式でその値が20%以上の者」としています。せき柱側わんの者とは、背骨の曲がりやねじれ、それが要因となる肋骨の変形がおきる疾病です。先天性のものや、思春期特発性のものもあります。

一方、「むし歯」や「ぜん息」は減少していることがわかります。どの疾病も、原因を一概に特定することはできませんが、生活習慣の見直しによって予防できることもありそうです。健康な生活習慣を保つようにしたいものです。

## ○ こどもの身長伸びについて

「学校保健統計調査」では、発育測定の結果を分析して3歳から17歳までの間に最も身長が伸びる時期を示しています。男子の場合は、11歳と12歳の間の身長差が7.5cmと最も大きくなっています。女子の場合は、4歳と5歳の間の身長差が7.6cmと最も大きくなっています。また、女子は9歳から11歳で、男子の身長を上回っています。このように、最近のこどもの身長の伸びを表しています。

確かに、夏休み明けから6年生男子の身長の変化を感じるが多くなりました。

## 秋みつけ

秋分の日を過ぎたころから朝の涼しさを感じるようになりました。「今朝の秋」という言い方もあるようです。秋の訪れを感じさせる朝を表現しています。日々の風景や気候の変化を感じながら、こどものような気持ちで秋をみつけてみるのもいいと思います。

9月の半ばくらいまで、積乱雲(入道雲)が立ち昇る様子がみられましたが、朝晩はひつじ雲(高積雲)がみられるときもありました。9月20日ごろからは、朝にいわし雲(またはうろこ雲・巻積雲)もみられるようになりました。空の青さが鮮やかになり、雲は薄く、高い位置になっていきます。そのような、高く澄んだ空を「秋の空」と表現することもあります。

また、朝晩によく見るようになったのが赤とんぼ(アキアカネ)です。アキアカネは気温が30度を超えると生存が難しくなるようです。私たちにとっては気温のバロメーターと言えるかもしれません。

地面に目を向けると、シロツメクサの花が咲き、猫じゃらし(エノコログサ)の穂が伸びています。歌島小学校の学習園には、コスモスが咲き、柿が実ってきています。中秋の満月を心待ちにしつつ。

令和7年度 10月行事予定表			
日	曜	学 校 行 事	その他
1	水	ZOOM	
2	木	全校集会(石拾い)予備日	生涯学習(ステンシル) 町会長会議
3	金	代・委員会(運動会)	
4	土		
5	日		
6	月		
7	火	C-NET ZOOM読み聞かせ	
8	水	ZOOM読み聞かせ 運動会全体練習① 修学旅行説明会⑥16:00多目的室 ICT支援員	
9	木	運動会全体練習	
10	金	運動会全体練習予備日 運動会前日準備⑤⑥6h	
11	土	運動会	
12	日		
13	月	スポーツの日	
14	火	運動会代休	
15	水	運動会予備日 ZOOM	
16	木	(運動会予備日)	
17	金	クラブ4 研究授業④5h	
18	土		
19	日		
20	月	修学旅行前検診⑥13:30～ パタポンおはなし会③～⑥2・3h	
21	火	C-NET ZOOM いじめ防止教室⑥2・3h	生涯学習(3B体操)
22	水	ZOOM	
23	木	歯科検診(抽出)	
24	金	クラブ5	民生委員会
25	土		
26	日		
27	月	手洗いうがい強調週間(27～31日) 英検Jr④⑤ ICT支援員	
28	火	C-NET ZOOM	生涯学習(太極拳)
29	水	栄養授業①2h 研究授業⑥5h(杉本) ZOOM	
30	木		
31	金	なかよし遠足	